

# アサザ保護で円卓会議

## 霞ヶ浦の水位操作 市民と懇談へ

扇国交相が明言

扇千景国交相は十六日、水位上昇について、参院決算委で、霞ヶ浦の水位上昇試験を来年度に再開するとして同省の方針に関して、「NGOと明言、地元市民団体の申し入れに対し、柔軟姿勢を見せた。この懇談の場を持ちた

### 霞ヶ浦水位調整 「市民と懇談を」

国交相答弁

国土交通省霞ヶ浦工務所などが来年度冬期から水位を変動させる計画を打ち出したことに市民団体などが反発している問題について、扇千景国交相は十六日の参院決算委員会、「市民との懇談の場を持ちたい」などと答弁した。

浦の植生回復のため二〇〇〇年十月から冬期の水位を上げずに管理していたが、来年度冬期から水位を変動させる方針を発表。これに対し、アサザ・マコモなどの植物群落に破滅的影響を与えるとして、アサザ基金は、白紙撤回などを求めることに、円卓会議開催の申し入れ書を提出していた。

サザなど霞ヶ浦湖岸の水生植物を保全するため、一昨年から冬期の水位上昇操作を休止していた。しかし、今月八日、来年度冬期から水位を上昇・下降させる運用試験を実施すると発表した。

これに対し、水質浄化機能に優れたアサザを湖岸全域に復活させる取り組み「アサザプロジェクト」を展開する「NPO法人アサザ基金」（飯島博代表理事）は「水位変動を伴う運用の再開は、植物群に破滅的影響を及ぼす」として、同省に対し、運用試験の白紙撤回に加え、行政側とNPOによる円卓会議の開催を求めている。

決算委で扇国交相は、円卓会議を設けることを明言したほか、「霞ヶ浦周辺の百二十一校、約四万人の生徒がアサザの里

親に参加するなど、地元の自然再生への熱意に敬意を表す」と述べ、地域の自然再生事業に理解を示した。

また、鈴木俊一環境相は「環境省としてもこの自然再生のモデル運動が生かされるように努力したい」とした。

両大臣は、民主党の谷博之氏の質問に答えた。

国交省によると、水位操作は、水利用と水辺環境との共存を模索するのが目的。

水位変動により、湖岸植生帯の変化を探るとい

飯島代表は「円卓会議の設置は画期的で、霞ヶ浦を考えるいい契機になる。円卓会議の場で湖岸植生の復元や塩害対策、水産資源の保護へ具体的な提案をしていきたい」と述べた。

2002. 10. 17 読売

霞ヶ浦

## 円卓会議で「水位」協議

工務事務所 上昇再開を撤回

霞ヶ浦の水位について、事務局長によると、同日、国土交通省霞ヶ浦工務所は来年度の冬期以降、弾力的な水位変動（上昇・下降）で管理する方針を示していたが、国は水位上昇管理の再開の方針を撤回し、円卓会議に委ねる見通しとなったことが十六日、関係者の話で明らかになった。

霞ヶ浦・北浦をよくする市民連絡会議の飯島博

「サザやマコモ、ヨシなどの植生帯が減少傾向にあるため、植生帯の緊急保全対策と併せて平成十二年十月から冬季水位を上げずに運用してきた。緊急保全対策工事は、沖に粗朶消波工を整備し、波を弱めることでアサザなどの植生の保全、復元を図るもので、今年三月末におおむね完成。アサザなど植生の回復が

2002. 10. 17 朝日

### 扇国交相 「地元交えて 問題協議を」

霞ヶ浦の冬期水位

用水の取水を、日量約三十万トンの余剰水が発生し、取水口が上流に位置する鹿島工業用水から取水する②逆水門の新政策を上流側で行い、常陸利根川を汽水域にする一などを求めた。汽水域を設けることで、現在は消滅し、商品価値の高いヤマトシジミを再生できるとい

「市民組織と一緒に自然回復事業をやっていく」という自然再生推進法案の趣旨に逆行する動きではないか」と追及した。

これに対し扇国交相は「地元関係者やNGO（非政府組織）との円卓会議や懇談で、植生の保全などを協議していく方針を明示しており、水位問題も話し合っていくのが基本的姿勢。円卓会議を見守りながら対処していきたい」と答えた。